

次号予告

特集 OR研究の過去・現在・未来

ORランダムウォーク.....伏見正則(東京大学名誉教授, 南山大学名誉教授)
OR50年.....今野 浩(東京工業大学名誉教授)
PとNPの半世紀.....茨木俊秀(京都情報大学院大学)
積分幾何学との出会い.....腰塚武志(南山大学)
待ち行列と私の研究—理論研究の可能性—.....宮沢政清(東京理科大学)
大域的最適化が面白い—Lagrange緩和からPutinarの補題へ—...小島政和(東京工業大学名誉教授)
「運・鈍・感」で綴る若手研究者へのメッセージ.....藤重 悟(京都大学数理解析研究所)

メーリングリストに登録しよう

本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。OR学会の活動に特に関心のある方ならば、誰でも登録できます。登録方法については、<http://www.orsoj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●今月の特集は二次錐計画法についてです。二次錐計画法は線形計画法や二次計画法を自然に拡張した形式となっており、半正定値計画問題とも大変ゆかりのある問題であり、今後の研究の発展も期待されます。特集は(失礼な言い方ですが)大変豪華な執筆陣によるさまざまな紹介で構成されております。この分野の第一線で活躍されている方々からの力強い内容ばかりで大変読みがいがありました。私自身は応用分野の研究を行っており、さまざまなモデル分析などで理論の恩恵を受けております。今回の特集全体を読ませていただき、二次錐計画法について、サプライチェーンや構造計算といった、実生活の身近なところでも使われて

おり、OR研究の幅の広さを改めて実感しました。最適化の手法は、社会システムのさまざまな分野で必要不可欠な技術ではありますが、実問題やシステムが前面にあって、いかにしてその問題を効率的に解くかというところは埋没しがちです。こうしたこともOR研究に目が向きづらい一因になっているのかもしれませんが、少し宣伝になってしまいますが、来年3月25日に春季大会において「これまでとこれからのOR」と題したシンポジウムを開催いたします。理論と応用の融合領域にとって、これまでもそしてこれからもなくてはならないORを見直してみようと思ひ企画いたしました。多くの人に足を運んでいただければ幸いです。

(生田目崇)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 池上敦子(成蹊大学)
委員 池辺淑子(東京理科大学), 石井儀光((独)建築研究所), 鶴飼孝盛(中央大学), 小林隆史(東京工業大学), 坂本英夫((株)東芝), 佐久間 大(防衛大学校), 笹谷俊徳(東京ガス(株)), 猿渡康文(筑波大学), 高野祐一(専修大学), 武内陽子(公益財団法人 鉄道総合技術研究所), 中原孝信(専修大学), 生田目 崇(中央大学), 原田耕平(NTTデータ数理解析システム), 松井知己(東京工業大学), 宮代隆平(東京農工大学), 矢野夏子((株)構造計画研究所), 吉住貫幸(日本アイ・ビー・エム(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成26年12月号 第59巻 第12号 通巻648号

代表者 大宮 英明

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 池上 敦子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社(Tel 03-3546-1337)へ。